

# 東京の生協・協同組合学びの講座 第Ⅱ期 開催報告 vol.4

主催：東京都生活協同組合連合会 協力：(公財)生協総合研究所

## 第6講「東京の協同組合から考える 戦争と平和」を開催しました

2025年1月24日(金)に、「東京の生協・協同組合学びの講座」第Ⅱ期の第6講を開催し、都内生協・協同組合団体から12組織21名の皆さんが参加しました。

前半は、江東区にある東京大空襲・戦災資料センターを訪問し、事務局の石田博美さんから説明と案内を受けた後、空襲体験者の亀谷敏子さんから当時の様子をお聞きし、映像や展示物も使って東京大空襲の実相を学びました。



空襲体験者の講話



館内見学



後半は、元日本生活協同組合連合会常務理事の齋藤嘉璋さんから、明治から今日に至るまでの協同組合と、戦争と平和との関わりを学び、再び日本を「戦前」にしないために考えてほしいことについての提起を受けました。また、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協と生協との関係についてもご紹介いただきました。

グループディスカッションでは、司会の生協総研研究員の三浦一浩さんから①平和とはどのような状態なのか②協同組合が平和にどう貢献できるか、の2つのテーマが示され、テーマに沿って参加者どうして活発な意見交換が行われました。グループ発表では、平和とは「生協や協同組合が存在していること」「当たり前の日常が保障されていること」など率直な意見が出されました。最後に講師から「戦争の教訓から、平和でない自主的な組織としての活動ができないのだから、戦争に反対していく」「終戦80年の活動に東京の協同組合や生協が協力して取り組んでいける」と講評をいただきました。次回、第7講「協同組合のジェンダー平等を考える」は3月17日(月)13:00～16:00に東京都生協連会館で開催します。



グループディスカッションの様子

### プログラム

12:00	開会、空襲体験者の講話、館内見学
13:30	東京土建江東支部会館会議室へ移動、休憩
13:50	講演
14:50	休憩
14:55	グループディスカッション
15:40	グループ発表
15:55	まとめ、次回案内
16:00	閉会



集合写真で、日本被団協への応援メッセージ

《事前課題》(1)ブックレット『生協の歴史から戦争と平和を考える』を読んでおく(2)以下について考えてくる①「戦争と平和」について自身や協同組合との関係で考えていること②「戦争と平和」について自組織での取り組み(3)参考資料「日本被団協のノーベル平和賞受賞に思う」